

第67回 維持管理研究会 議事録

1. 日次： 2016年9月29日(木) 16:00－18:00
2. 場所： BCAA神田オフィス
3. 出席者(敬称略) 13名＋1名講師
荒井(講師)、小田、鮎川、金子、國貞、小林、澤田、清水、守護、田中、高橋、柳谷、宮澤、中谷(記)
4. 研究内容
(1)「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」 内閣官房 国土強靱化推進室 の概要説明
とレジリエンス認証の審査基準について (荒井氏より)

①国土強靱化貢献団体と認証組織の定義

国土強靱化の推進について協賛し、その促進のため、自助(事業継続)に積極的に取り組んでいる事業者を国土強靱化貢献団体とする。

認証組織としては、現在レジリエンスジャパン推進協議会のみであるが、国土強靱化推進室に申請し、認可を受ければ認証組織として活動できる。(要件はかなり厳しい)

なお認証マークは、レジリエンスジャパン推進協議会のものであり、同協会から認証を受けた団体のみが使用できる。

②国土強靱化貢献団体の認証の具体的基準

～レジリエンス認証の目指す姿～

- ・経営者のリーダーシップの下、自社の重要業務と目標復旧時間を的確に把握していることを確認
- ・事業継続戦略・対策を着実に実施していることを確認
- ・事業継続に関する訓練を繰り返し、継続的改善に前進を続けている団体を確認
- ・事前対策、訓練・改善の実績を確認
- ・今後の取り組みを確認

国土強靱化貢献団体の認証は、次の(1)～(9)の全てを満たすものとする。

- (1)事業継続の係の方針が策定されている。

事業継続方針がBCPに含まれているか(事業継続方針など)

- (2)事業継続のための分析・検討がされていること。

BIA及びリスク評価・分析を行い、重要業務とそのRTOを明確にし、脆弱性を把握している。

(分析・評価し重要業務・RTOを決定、及びその脆弱性を把握した書面が必要)

- (3)事業継続戦略・対策の検討と決定がされている。

RTO内に重要業務を継続・復旧させる戦略・対策を検討し決定している。

(4) 一定レベルの事業継続計画(BCP)が策定されている。

緊急事態発生しても重要業務を中断させない、又は可能な限り短時間での復旧させるための体制、対応手順が策定している。

(5) 事業継続に関して見直し、改善できる仕組みを有し、適切に運営されている。

- ・事業継続に関する見直し・改善を行う仕組みを有しているか
- ・見直し・改善が具体的に実施されているか

(6) 事前対策が実施されている。

事業継続の実効性を高めるための事前対策が適切に行なわれているか

(7) 教育・訓練を定期的実施し、必要な改善が行われている。

事業継続に係る教育・訓練を計画書に基づき定期的実施しているか
(訓練計画→実施→見直し改善を計画的に実施している書面)

(8) 事業継続に関する一定の経験と知識を有するものが担当している。

要件を満たす事業継続担当者が1名以上有している

- ・BCAO初級管理者、準主任管理者、主任管理者
- ・DRIIのABCP、CFCP、CBCP、MBCP
- ・CBCIのMBCP他
- ・その他BCMS審査員補、審査員、主任審査員

(9) 法令に違反する重大な事実がない。

国土強靱化にかかる法令等に関して、違反する重大な事実がないこと

維持管理研究会のメンバー組織・団体の中で複数社で取得を検討したいとの意見があった。

5. その他

次回研究会

SGホールディング様の職場見学及びレジリエンス認証取得について

以上